

田中ひさや予定候補の推薦を決定 予定変更で焼酎とビール工場見学を堪能

事務局長 森峰 茂樹

九州・山口シニアクラブは、10月15、16日、大分県日田市の「かんぽの宿」で第15回定期総会を開き、会員29名が参加した。

初日に予定した「グランドゴルフ大会」は降雨により中止、代って「いいちこ」で知られる三和酒造とサッポロビールの日田工場を見学し、両工場で試飲のはしご酒を楽しんだ。

とりわけ、サッポロビール日田工場でエビスビールの歴史を見学、1887年の創業時から今日までの経過や銀座に初出店したビアホールの内外の様子が実物大で再現されており、案内嬢の軽妙な口上も加わり興味をそそられる見学会だった。

見学の締めくくりはエビスビールの試飲、小ジョッキ3杯までの制限つきながら二種類の出来立てビールを堪能し、満足の工場見学を終えた。

焼酎とビールのホロ酔いの余勢のなか、夕食懇親会はクジ引きやカラオケ大会に歓声が弾み、満足の初日を終えた。

翌日の定期総会は、松井会長の主催者代表あいさつ、来賓のJAM九州・山口の横田執行委員長、JAMシニアクラブ豊泉副会長からあいさつを受けた。豊泉副会長は政策制度の省庁要請では組織内国会議員の有無により対応に大きな差がある実情にふれ、JAM組織内候補予定者「田中ひさや」への結集を呼びかけ、シニアの重点課題である介護問題について力説された。活動方針承認の後、田中ひさや予定候補の推薦決定を満場一致で決め、役員の空白県であった佐賀県から前川新幹事を選出し総会を終えた。



